

【建コン協東北若手の会 学び、成長の場に 将来像や課題を議論】



建設コンサルタンツ協会東北支部の若手の会（山本佳和委員長）は17日、仙台市内の戦災復興記念館で「若手技術者ワールドカフェin杜の都」を開いた。写真。同支部

東北協会の 若手の会 「学び、成長の場に 将来像や課題を議論」

建設コンサルタンツ協会東北支部の若手の会（山本佳和委員長）は17日、仙台市内の戦災復興記念館で「若手技術者ワールドカフェin杜の都」を開いた。写真。同支部

改善行動などについて意見を交えた。

席上、あいさつに立った山本委員長は「これからの時代は建設一辺倒から脱却し、複

行っ学びの場であり、成長の場となる。高い志を持ち、変革に挑む若手を増やす受け皿

この後、カフェにいるよう

会員で20～30歳代の若手技術者約60人が参加し、若手特有の悩みを共有しつつ交流を深めるとともに、建設コンサル

雑化・多様化した社会的要請に広げたいかなければならぬ」とし、「若手の会は、われわれ同世代が集い、真面目に面白いことを考え、議論を

な雰囲気のもと、▽スキルアップ▽イメージアップ▽働き方のワンアッパーの3つのテーマについて、少人数に分かれた各テーブルで参加者全員が活発に議論した。

参加者からは「一番年齢が近い先輩が一回り以上離れているため、年齢構成に不安を感じる」「残業が多い」などの悩みのほか、「一般人のコンサルに対する知名度が低いことから、PRが必要だ」などの課題解決に対する意見があった。